

令和4年度 前期

No	評価指標	R4 前期	R4 後期	学校による考察・改善方策	アンケート結果(%)					無回答	評価率 (4・3の%)	目標値	R4前期 平均値
					4	3	2	1	?				
1	個に応じた指導に努め、基礎・基本の定着を図る。	B		教職員は基礎・基本の定着を図るための個に応じた指導に努めているが、生徒・保護者は、基礎・基本を十分身に付けている(基本的な学習内容を理解している)ととらえていない。生徒の理解度を確認しながら、今後もきめ細かい指導を継続する。	教職員 8 85 0 0 0 8 生徒 19 53 19 3 6 0 保護者 13 51 18 2 2 0	92 72 64	4・3の 評価率 80%以上	76%					
2	主体的・対話的で深い学びの実践に努める。	B		学習意欲を持って、主体的に自分の意見を発表したり、友達のを聞いてたりすることができている生徒は69%である。対話的で深い学びの実践、言語活動の充実を目指した場の設定を今後も継続する。	教職員 8 85 0 0 0 8 生徒 18 51 27 2 2 0 保護者 11 64 8 0 2 1	92 69 75	4・3の 評価率 80%以上	79%					
3	特別支援教育の視点に立った授業づくりに努める。	B		特別支援教育の視点に立った授業づくりに努めた結果、80%の生徒が「学校が楽しい」と思っている。しかし、そうではない生徒が20%、保護者が32%いる。今後も一人一人の様子に気を配る。	教職員 15 69 0 0 7 8 生徒 41 38 13 5 2 0 保護者 21 47 13 0 5 3	85 80 68	4・3の 評価率 80%以上	77%					
4	校内研修・ブロック研究体制による体系的な指導に努める。	B		小学校と連携して自主学習の指導を進めているが、「自主的な学習習慣が身に付いていない」と感じている生徒が69%いる。生徒のやる気を引き出す授業を継続し、自主的な学習につなげる。	教職員 15 69 0 0 8 8 生徒 18 53 23 3 3 0	85 71	4・3の 評価率 80%以上	78%					
5	各教科で身に付けた力を様々な場面で活用できるよう努める。	B		教科横断的な指導や、学校教育全体を通しての道德教育などに努めている教員が多いが、生徒の自覚を促すまでには至っていない。意識して目的や課題を確認させ、身に付いた力を活用させる。	教職員 8 77 8 0 0 8 生徒 24 45 19 5 6 0	85 70	4・3の 評価率 80%以上	77%					
6	基本的な生活習慣を身に付けさせる。	A		「基本的な生活習慣が身に付いている」と感じている教職員・生徒と保護者の間に12%の、保護者とは24%の差がある。今後も身に付いていない場面があれば、その場で注意を促し、確実に身に付くよう支援する。	教職員 8 85 8 0 0 0 生徒 38 41 14 3 3 0 保護者 22 46 13 4 1 0	92 80 68	4・3の 評価率 80%以上	80%					
7	「愛中GO宣言」や生徒会スローガンを生かして生徒の自主性を育てる。	B		「愛中GO宣言」や生徒会スローガンを意識している生徒が半数である。自主性を重んじて愛中の伝統を守ってきた先輩の姿を思い起こさせる場面を、教職員が更に意識して設定していく。	教職員 8 85 8 0 0 0 生徒 14 37 33 11 4 0	92 52	4・3の 評価率 80%以上	72%					
8	教育相談の充実を図り生徒理解に努める。	B		悩みを教職員の相談しようと思う生徒は64%しかいないが、今後も「道一丁」でのやりとりや、日々の声掛けを意識して行うことで、生徒の悩みに気づき寄り添う指導を継続する。	教職員 38 54 8 0 0 0 生徒 29 34 28 7 1 0 保護者 15 54 9 1 7 2	92 64 69	4・3の 評価率 80%以上	75%					
9	心の通い合う仲間づくり・集団づくりに努める。	A		「愛中生には思いやりの心が育っている」と、教職員・保護者は感じているが、生徒自身・保護者は厳しい評価を下している。思いやりが見られた場面で、褒める・認める指導を継続する。	教職員 8 92 0 0 0 0 生徒 17 60 7 4 12 1 保護者 13 54 10 1 8 1	100 77 67	4・3の 評価率 80%以上	81%					
10	活動に積極的に取り組む生徒の育成に努める。	A		教職員・保護者の目から見ると、生徒会活動や学校行事、部活動等の諸活動に積極的に取り組む生徒が育っていると思われる。しかし、生徒は厳しい評価を下している。一人一人の活躍の場を今後も設定するとともに、日々の地道な活動を認め、励ます指導を継続する。	教職員 15 85 0 0 0 0 生徒 26 48 18 3 4 0 保護者 24 53 3 0 7 2	100 75 76	4・3の 評価率 80%以上	84%					
11	目的意識を持って主体的に取り組む生徒の育成を目指す。	A		今後も活動や学習の目的を明確にし、目標を意識して主体的に取り組む生徒の育成に努める。	教職員 0 100 0 0 0 0 生徒 24 46 19 4 6 1	100 71	4・3の 評価率 80%以上	85%					
12	人権感覚を磨き、いじめのない集団づくりを行う。	B		高評価の生徒は多いが、1の評価もある。また、教職員・保護者の4の評価が低い。全教育活動を通して道德教育を実践し、思いやりの心を育てる。いじめに対して毅然とした指導を行う。	教職員 0 85 15 0 0 0 生徒 44 44 6 1 4 0 保護者 10 44 11 3 17 4	85 89 55	4・3の 評価率 80%以上	76%					
13	気持ちの良い挨拶の習慣を身に付けさせる。	A		高評価であるが、生徒・保護者に2や1の評価もある。今後も挨拶活動を継続し、挨拶の良さに気づかせる。	教職員 15 85 0 0 0 0 生徒 42 41 13 2 1 0 保護者 23 45 10 1 7 1	100 84 68	4・3の 評価率 80%以上	84%					
14	清掃に真面目に取り組む生徒の育成に努める。	A		ほとんどの生徒に、真面目に清掃に取り組む姿勢が身に付いている。今後も環境整備に努め、環境や心を整えることの良さに気づかせる。	教職員 0 85 8 0 8 0 生徒 41 36 16 2 4 0	85 78	4・3の 評価率 80%以上	81%					
15	積極的にリサイクル活動に取り組む生徒を育成する。	A		環境委員会の取組の成果もあり、リサイクルに対する意識が高い生徒が多い。今後も活動を継続する。	教職員 38 62 0 0 0 0 生徒 40 42 9 5 3 0	100 83	4・3の 評価率 80%以上	91%					
16	様々な場面を通して、危機意識・防災意識の高揚を目指す。	B		学期に1度以上の避難訓練を実施するとともに、授業や短学活などの時間の話題にすることで、生徒や校報を通して、危険や災害に対する心構えを家庭での話題に上げられるようにする。	教職員 8 69 15 0 8 8 生徒 18 52 21 1 8 0 保護者 8 46 24 1 7 1	77 70 54	4・3の 評価率 80%以上	67%					
17	個に応じた指導を行うために、生徒理解に努めている。	B		自分のことを分かってくれていないと感じている生徒、「分からない」と答えた生徒が合わせて40%以上いる。学年会や生徒指導部会における情報交換や共通理解に努め、一人一人に合った指導を心掛ける。	教職員 38 62 0 0 0 0 生徒 25 33 22 9 10 1 保護者 15 49 10 1 10 2	100 59 64	4・3の 評価率 80%以上	74%					
18	地域行事や奉仕活動への参加を通して、奉仕の気持ちを育てる。	B		コロナ下で、地域の活動になかなか参加できていない。感染対策をとりながら、できる範囲で地域の活動にも参加させる。	教職員 23 69 8 0 0 0 生徒 15 29 41 10 4 1 保護者 25 48 7 0 7 2	92 44 73	4・3の 評価率 80%以上	70%					
19	保護者や地域との連携を図り、信頼関係の構築に努める。	B		家での会話に学校を話題にする生徒は63%である。大きな行事だけでなく、日々の活動の中にも楽しさを感じられる集団づくりを目指す。	教職員 15 85 0 0 0 0 生徒 31 32 20 12 4 1 保護者 14 58 6 0 8 0	100 64 72	4・3の 評価率 80%以上	78%					
20	学級通信・愛中通信・学校HPを通しての情報発信に努める。	B		HPについて、写真の大きさや発信の内容などに対する要望があるので、今後も研修を深める。	教職員 46 46 8 0 0 0 生徒 28 45 18 7 1 0 保護者 14 57 10 0 4 1	92 74 71	4・3の 評価率 80%以上	79%					
21	指導力の向上(ICT・道德・専門的な研究など)に努める。	A		一人一台端末の活用について、研修を行う。	教職員 31 54 15 0 0 0	85	4・3の 評価率 80%以上	85%					
22	共通理解の下、全教職員の協力体制の充実を図る。	A		今後ものりしろを広く持ち、協力して活動を継続する。	教職員 23 69 8 0 0 0	92	4・3の 評価率 80%以上	92%					
23	校舎内外の整備・美化に努める。	A		各自の担当場所は確実に、余裕があればそれ以外も、整備・美化に努める。	教職員 23 77 0 0 0 0	100	4・3の 評価率 80%以上	100%					
24	訓練や研修等により生徒の事故防止に努める。	A		今後も学期に1度以上の避難訓練を継続するとともに、校内研修で危機管理意識を高める。	教職員 15 85 0 0 0 0	100	4・3の 評価率 80%以上	100%					
25	定期的に安全点検を実施し、潜在危険箇所の予知に努める。	A		安全点検を継続し、事故の未然防止に努める。	教職員 31 69 0 0 0 0	100	4・3の 評価率 80%以上	100%					
26	生徒・教職員等の個人情報の管理・保護に努める。	A		今後も一人一人が意識し、個人情報の管理・保護に努める。	教職員 31 69 0 0 0 0	100	4・3の 評価率 80%以上	100%					
27	時間外勤務の時間が減るよう、能率の良い働き方や業務の効率化を意識する。	B		健康管理に留意し、必要不可欠な仕事以外について再考を行う。	教職員 15 54 31 0 0 0	69	4・3の 評価率 80%以上	69%					